

男女共同参画に関する市民意識調査 調査結果概要版

◆平成27年3月 ◆岡崎市

調査の概要

◆調査の目的

本市では、男女がお互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現に向けて、平成23年4月に「新ウィズプランおかざき21」を策定し、市民の皆様とともに取り組んできました。

本調査は、「新ウィズプランおかざき21」が見直しの時期を迎えており、新たに市民からの意見を基礎資料として把握するために実施しました。

◆調査方法と回収結果

調査対象は、市内在住成人（20歳以上）の男女について、男女比1：1で無作為抽出を行い、平成26年7月上旬から平成26年9月上旬までの期間に郵送配布・回収方式で実施しました。

有効配布数は3,000名で、有効回収率は36.0%でした。

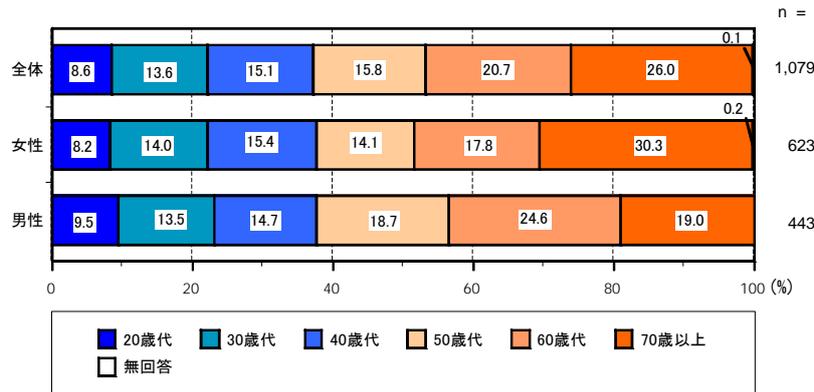
有効配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
3,000	1,093	1,079	36.0%

このような方々から回答をいただきました

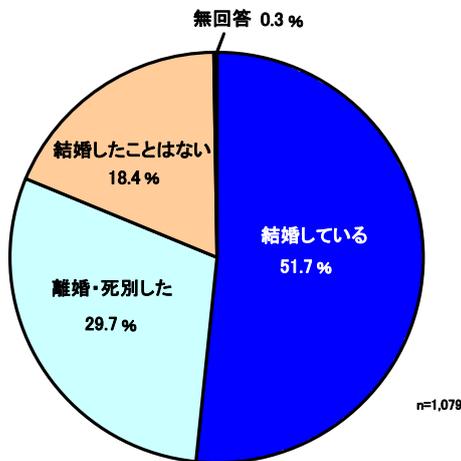
◆あなたの年齢は？

☆図の中のn：回答者の総数

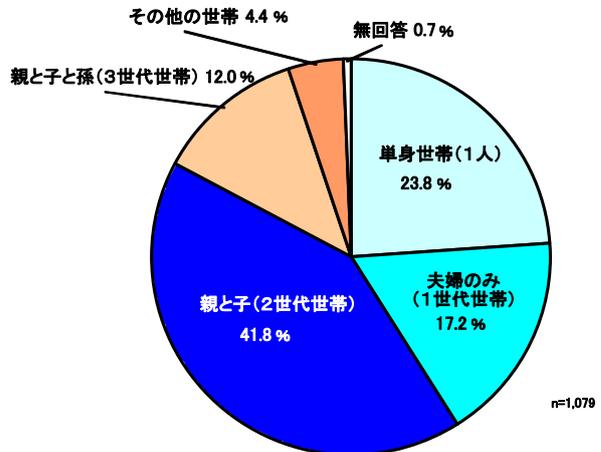
☆単数回答の構成比（%）が、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%になりません。



◆あなたは結婚していますか？



◆あなたの家族構成は？

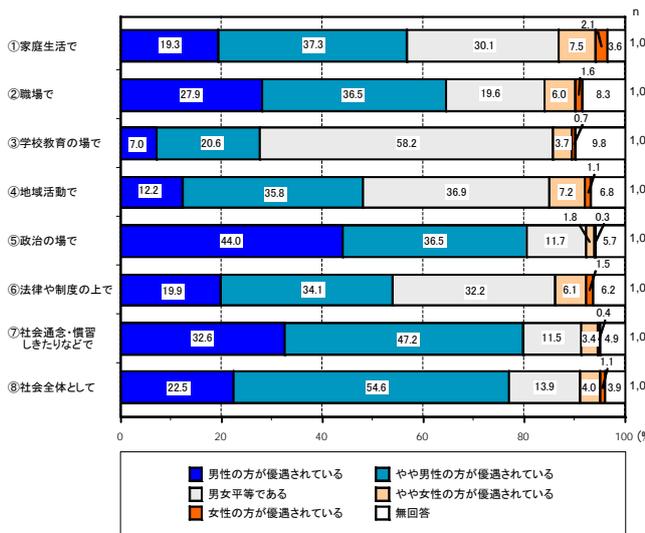


男女共同参画社会に関する考え方について

◆分野別における男女平等についての現状認識

○『男性が優遇されている』（「やや男性が優遇されている」+「男性の方が優遇されている」）が⑤政治の場で、⑦社会通念・慣習しきたりなどにおいて約8割と他の項目よりも高く、⑧社会全体としても77.1%と高くなっています。

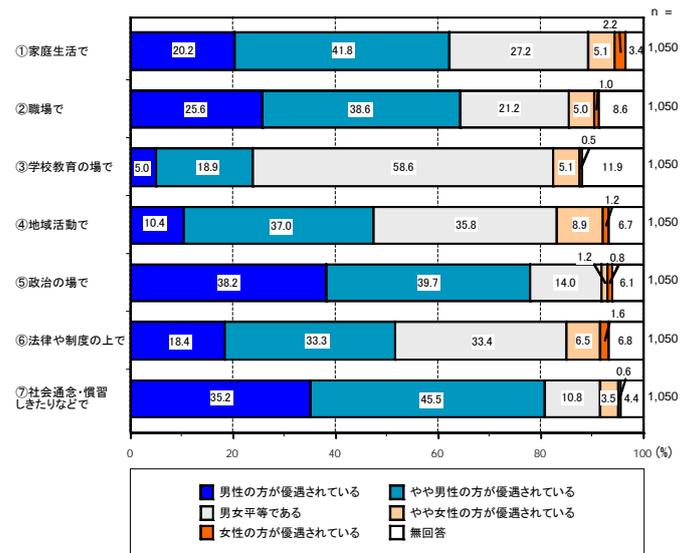
【分野別における男女平等についての現状認識】



○平成 20 年度調査と比較すると、①家庭生活で『男性が優遇されている』がやや低くなっています。

○一方、③教育の場では、本年度調査が平成 20 年度調査よりも『男性が優遇されている』が高くなっています。

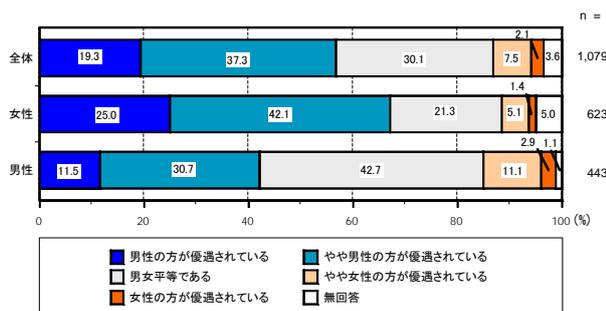
【分野別における男女平等についての現状認識 (平成 20 年度調査)】



◆家庭生活では？

○「やや男性が優遇されている」が37.3%と最も多く、次いで「男女平等である」が30.1%です。
○『男性が優遇されている』（「やや男性が優遇されている」+「男性の方が優遇されている」）+「女性の方が優遇されている」は約1割にとどまっています。

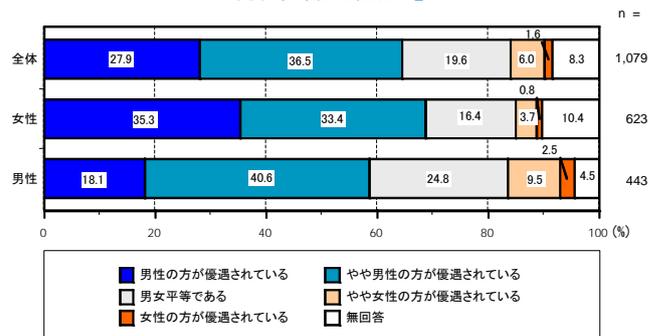
【家庭生活における男女平等についての現状認識 (性別)】



◆職場では？

○『男性が優遇されている』は64.4%です。
○「男女平等である」は19.6%、『女性が優遇されている』は7.6%にとどまります。

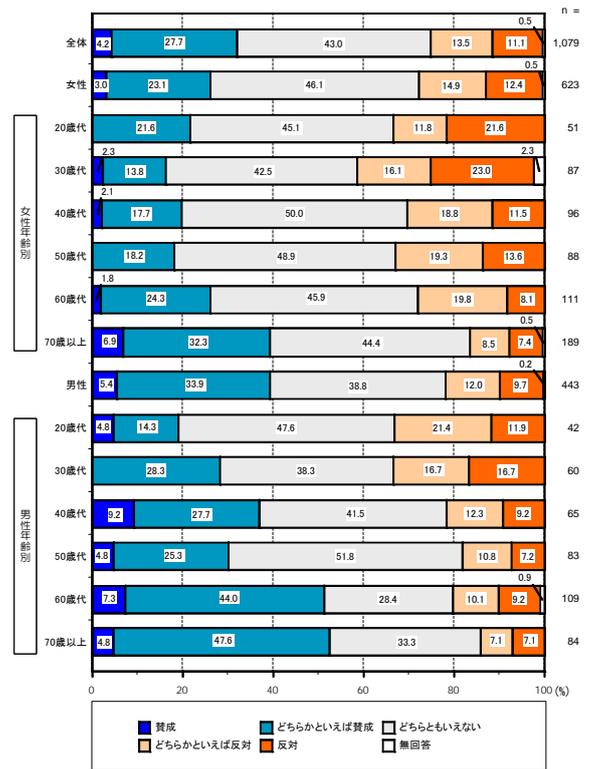
【職場における男女平等についての現状認識 (性別)】



◆「男は外で働き、女は家庭を守るべき」についてどのように考えますか？

○「どちらともいえない」が43.0%、次いで「どちらかといえば賛成」が27.7%となっています。『賛成』（「賛成」+「どちらかといえば賛成」）が31.9%、『反対』（「どちらかといえば反対」+「反対」）が24.6%で、賛成意見のほうが多くなっています。
○性別では女性では『賛成』が26.1%で、『反対』が27.3%と拮抗しており、年齢を見ると子育て期の家庭が多い30歳代で『反対』が4割近くと高くなっています。

【「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方について（性別・年齢別）】



家庭生活について

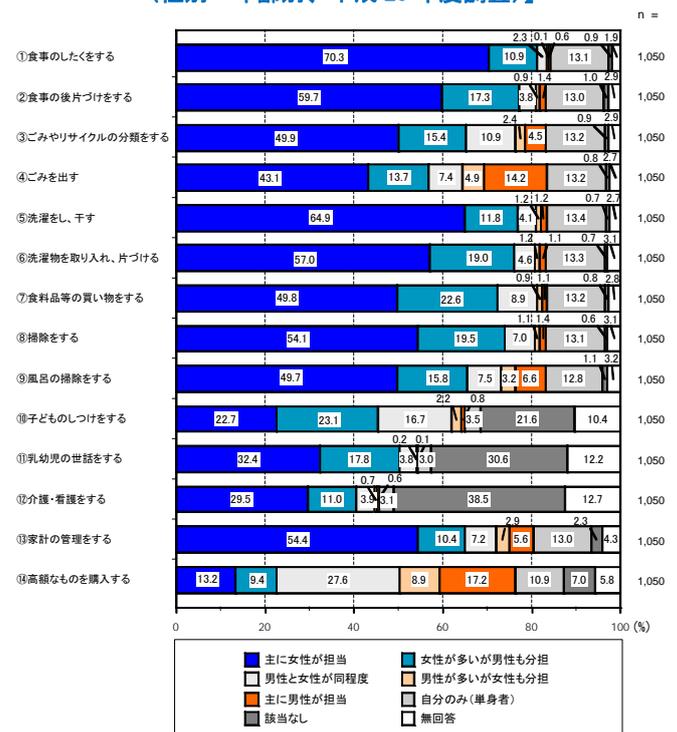
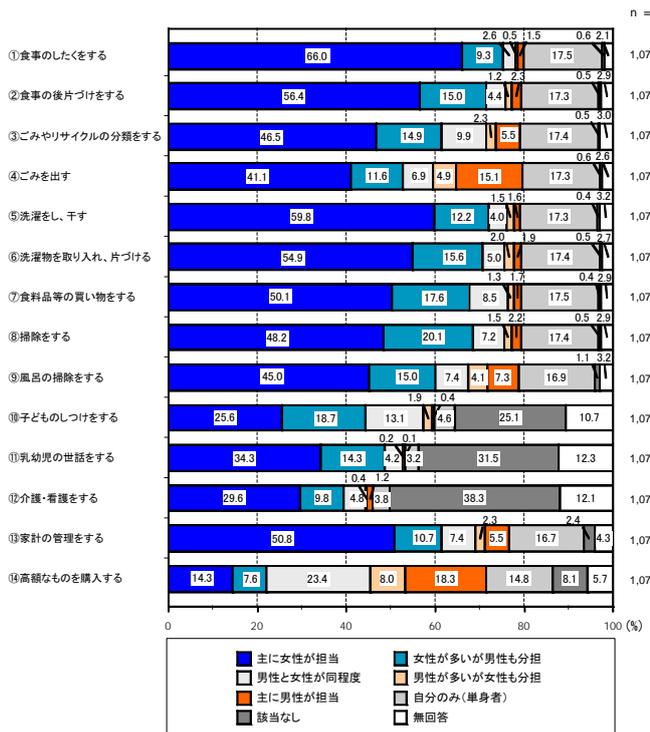
◆次のことをどなたが主に行っていますか？

○「該当なし」を除くと、⑭高額なものを購入する以外の項目では、「主に女性が担当」が最も高くなっています。特に、①食事のしたく、②食事の後片付け、⑤洗濯をし、干すでは、「主に女性が担当」が55%を超えており、家事は女性に大きく依存しています。

○平成20年度調査と比較すると本調査にかけて、⑤洗濯をし、干す、⑧掃除では、「主に女性が担当」が5.1ポイント以上低くなりました。

【家庭生活における担当について（性別・年齢別）】

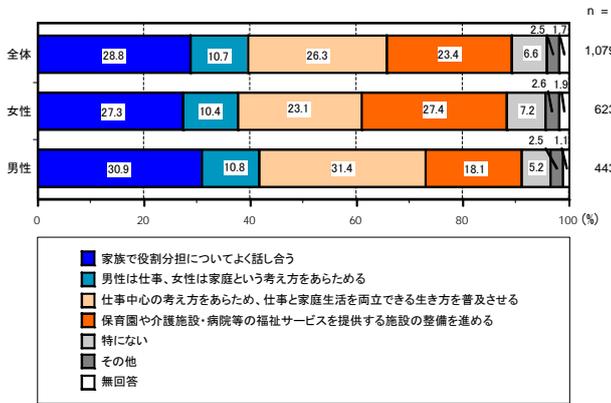
【家庭生活における担当について（性別・年齢別、平成20年度調査）】



◆家事や育児、介護などを男女で分担していくために必要だと思うことは？

○「家族で役割分担についてよく話し合う」(28.8%)と「仕事中心の考え方をあらため、仕事と家庭生活を両立できる生き方を普及させる」(26.3%)、「保育園や介護施設・病院等の福祉サービスを提供する施設の整備を進める」(23.4%)の3項目に回答が集まっています。

【家事や育児、介護の分担の必要性について (性別)】



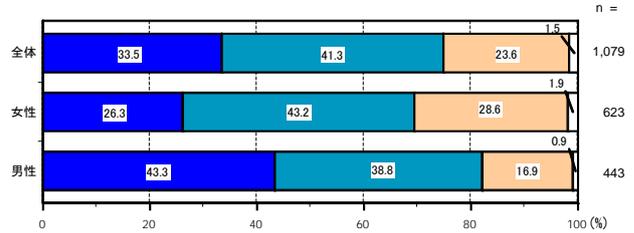
◆子どもの育て方について、どのように思いますか

○「男女の区別なく、同じように育てたほうがよい」が41.3%と最も多く、次いで「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」が33.5%、「どちらともいえない」となっています。

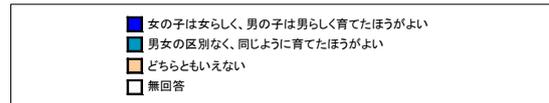
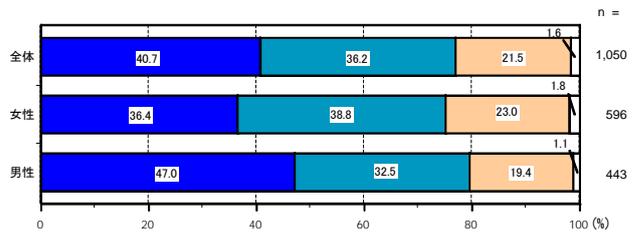
○平成20年度調査では「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」が40.7%と最も高く、本調査では「男女の区別なく、同じように育てたほうがよい」が41.3%と最も高くなりました。

○女性、男性ともに、「男女の区別なく、同じように育てたほうがよい」が、平成20年度調査から本調査にかけてやや高くなりました。

【子どもの育て方について (性別)】



【平成20年度調査】

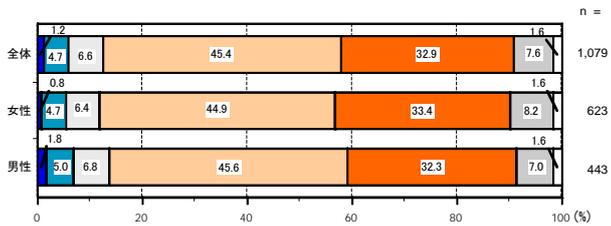


職場について

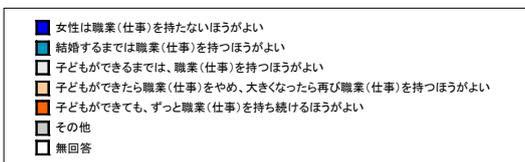
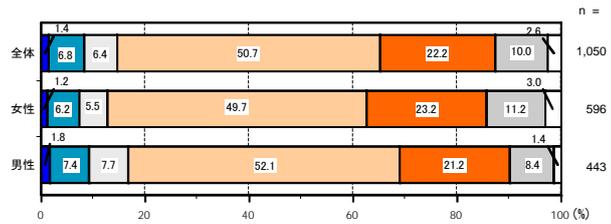
◆女性が職業(仕事)を持つことについて、どのように思いますか

○「子どもができたなら職業(仕事)をやめ、大きくなったら再び職業(仕事)を持つほうがよい」が45.4%で最も高く、次いで「子どもができて、ずっと職業(仕事)を持つほうがよい」が32.9%です。

【女性が仕事を持つことについて (性別)】



【平成20年度調査】

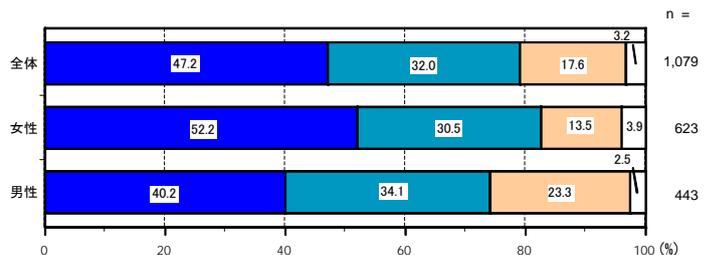


業(仕事)を持ち続けるほうがよい」が32.9%となっており、この2項目で全体の8割近くを占めています。○本調査では「子どもができて、ずっと職業(仕事)を持ち続けるほうがよい」が32.9%で平成20年度調査より10.7ポイント高くなっています。

◆ワーク・ライフ・バランスについて知っていますか

○「全く知らない」が47.2%、「ことばは聞いたことがある」が32.0%と8割近くが内容等を理解していません。「ことばの内容を理解している」は、17.6%です。

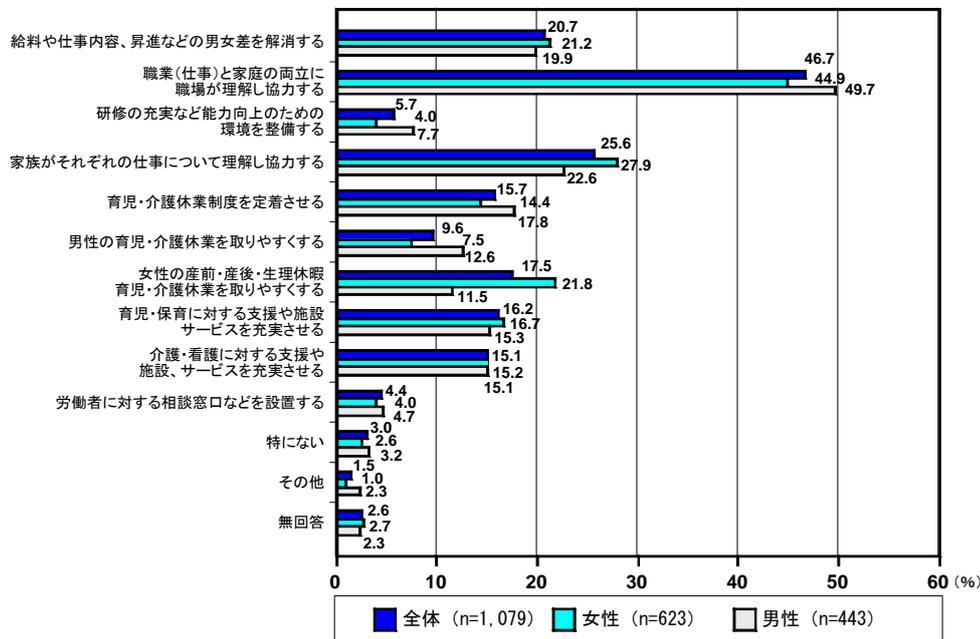
【ワーク・ライフ・バランスの認知 (性別)】



◆安心して働ける環境について

- 「職業（仕事）と家庭の両立に職場が理解し協力する」が46.7%で際立って高く、次いで「家族がそれぞれの仕事について理解し協力する」が25.6%、「給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する」が20.7%となっています。
- 性別では、女性で「女性の産前・産後・生理休暇、育児・介護休業を取りやすくする」が21.8%と、全体よりやや高くなっています。

【安心して働ける環境について（性別）】

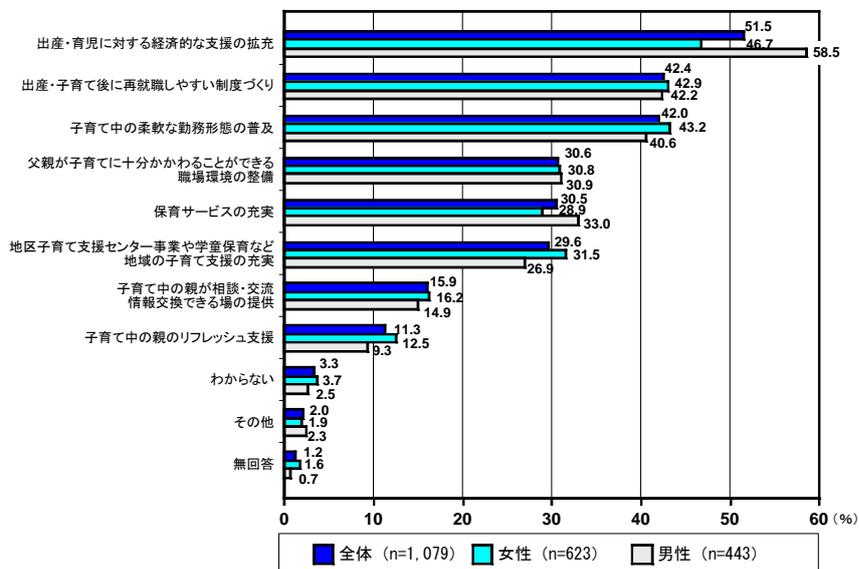


安心して出産・子育てできる要件

◆女性が安心して出産・子育てができる要件

- 「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」が51.5%、「出産・子育て後に再就職しやすい環境づくり」が42.4%、「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」が42.0%と高くなっています。
- 性別では、男性で「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」が58.5%と女性より11.8ポイント高くなっています。
- ☆複数回答の回答割合（%）は回答者数(n)を母数としており、合計は100%を超えます。

【安心して出産・子育てできる要件について（性別）】



仕事やプライベートな時間の優先度について

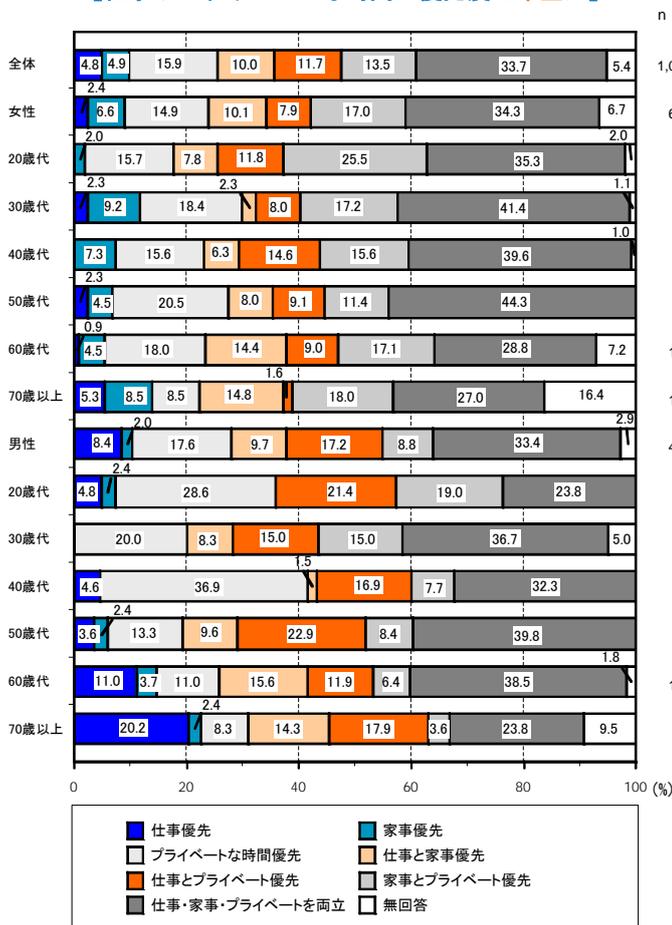
◆希望する生活の中での、仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）の優先度について？

○【希望】では、「仕事・家事・プライベートを両立」が33.7%で最も多く、次いで「プライベートな時間優先」が15.9%、「家事とプライベート優先」が13.5%となっています。

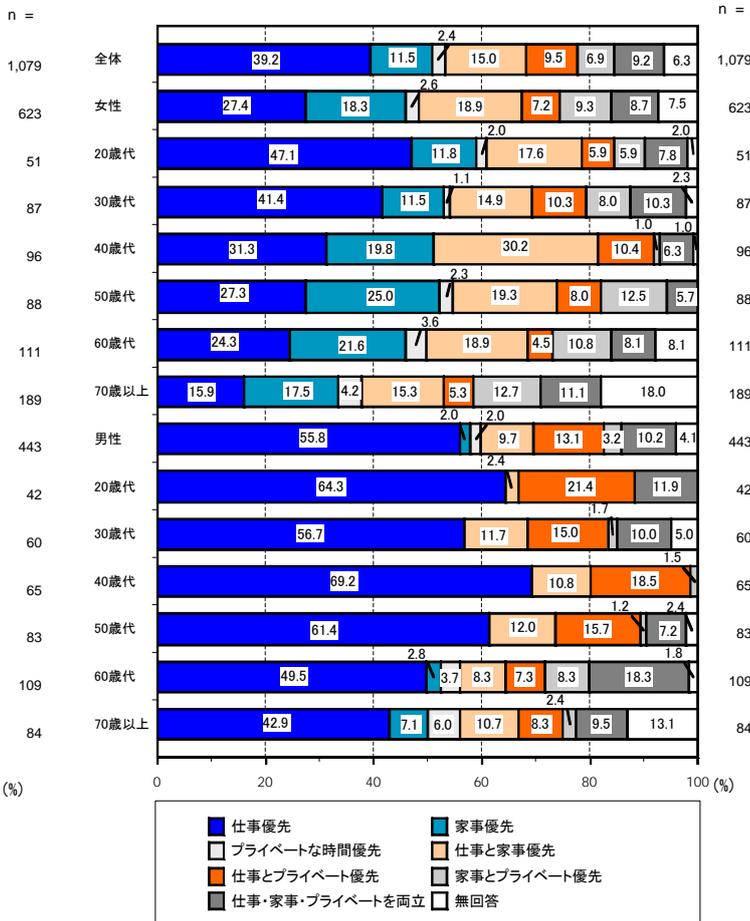
◆現実の生活の中での、仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）の優先度について？

○【現実】では、「仕事優先」が39.2%で最も多く、次いで「仕事と家事優先」が15.0%、「家事優先」が11.5%となっています。

【仕事やプライベートな時間の優先度＜希望＞】



【仕事やプライベートな時間の優先度＜現実＞】



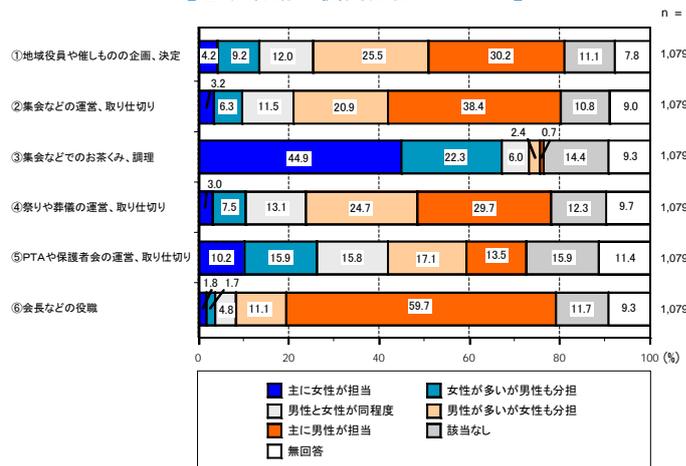
地域や社会との関わり方について

◆住んでいる地域での活動の役割分担はどうなっていますか？

○③集会などでのお茶くみ、調理で『主に女性が担当』（「主に女性が担当」＋「女性が多いが男性も分担」）が、67.2%と圧倒的に高くなっています。

○『主に男性が担当』（「男性が多いが女性も分担」＋「主に男性が担当」）は、⑥会長などの役職(70.8%)と②集会などの運営、取り仕切り(59.3%)、④祭りや葬儀の運営、取り仕切り(54.4%)で高くなっています。

【地域活動の役割分担について】

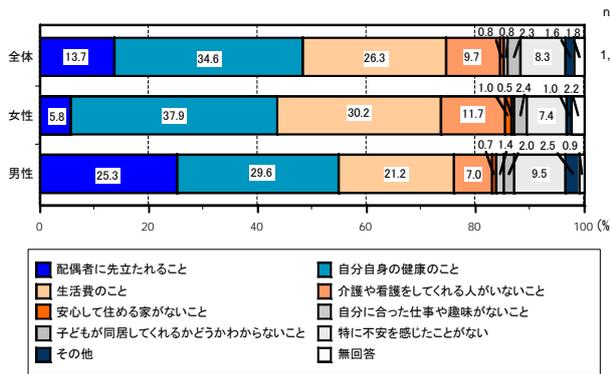


介護のことやDV（ドメスティック・バイオレンス）について

◆ご自分の老後を考えたとき、心配事や不安がありますか？

- 「自分自身の健康のこと」が34.6%で最も多く、次いで「生活費のこと」が26.3%、「配偶者に先立たれること」が13.7%となっています。
- 女性では「自分自身の健康のこと」(37.9%)、「生活費のこと」(30.2%)が、男性より約1割高く、男性では「配偶者に先立たれること」が25.3%であり、女性の4倍以上のポイントとなっています。

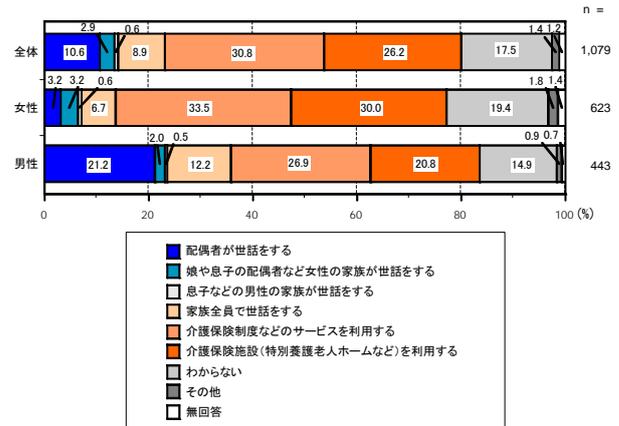
【自身が老後を迎えるに当たっての不安（性別）】



◆ご自身に介護が必要になったとき、身の回りの世話をどのようにしたいですか？

- 「介護保険制度などのサービスを利用する」が30.8%で最も多く、次いで「介護保険施設を利用する」が26.2%となっています。「配偶者が世話をする」が10.6%となっています。
- 女性では「介護保険制度などのサービスを利用する」(33.5%)、「介護保険施設を利用する」(30.0%)と介護保険などのサービスの項目が高くなっています。

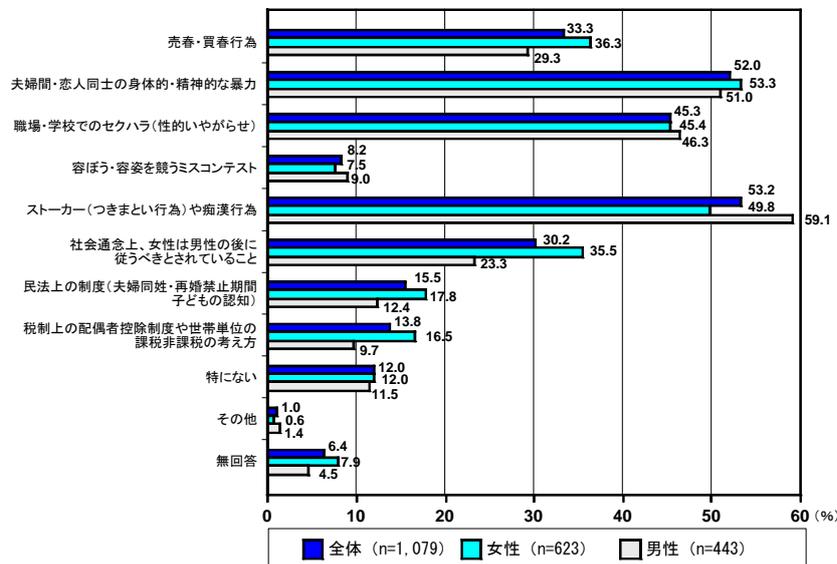
【自身の要介護時における身の回りの世話について（性別）】



◆人権が侵害されるもしくは尊重されていないと感じるのはどのような場合ですか？

- 「ストーカーや痴漢行為」が53.2%、「夫婦間・恋人同士の身体的・精神的な暴力」が52.0%で特に高くなっています。
- 女性で「社会通念上、女性は男性の後に従うべきとされていること」が35.5%と、全体よりやや高くなっています。

【人権が侵害されるもしくは尊重されていないと感じる場合について（性別）】

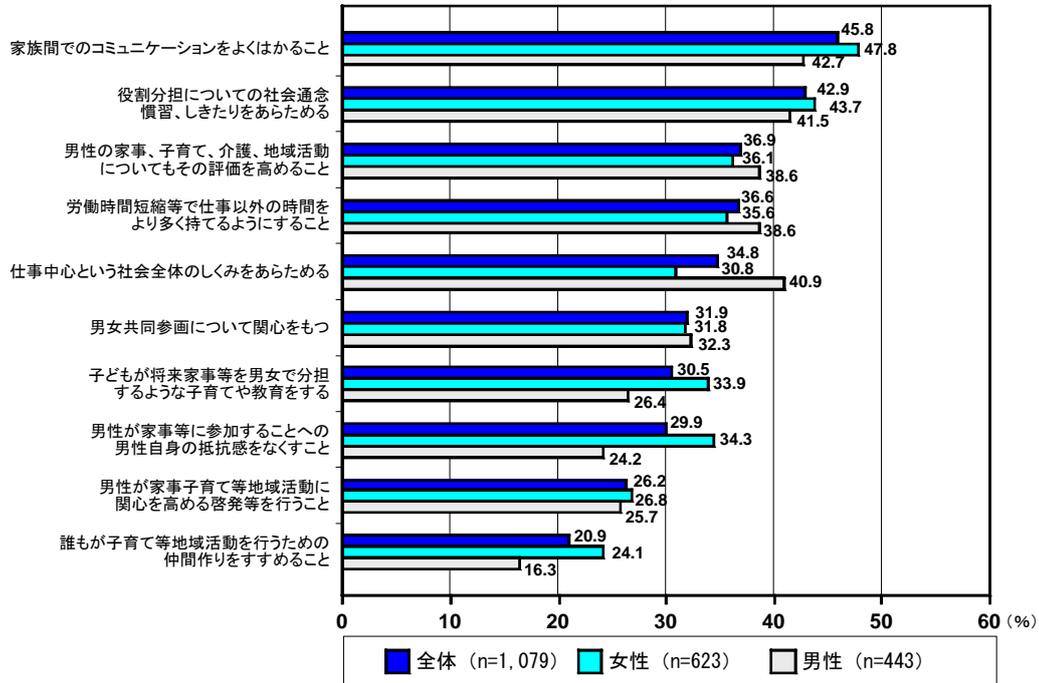


男女共同参画社会の実現に向けて

◆今後、男女が家事、子育て、介護等に積極参加するために、どのようなことが必要だと思いますか？

○「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が45.8%で最も高く、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりをあらためる」が42.9%となっています。

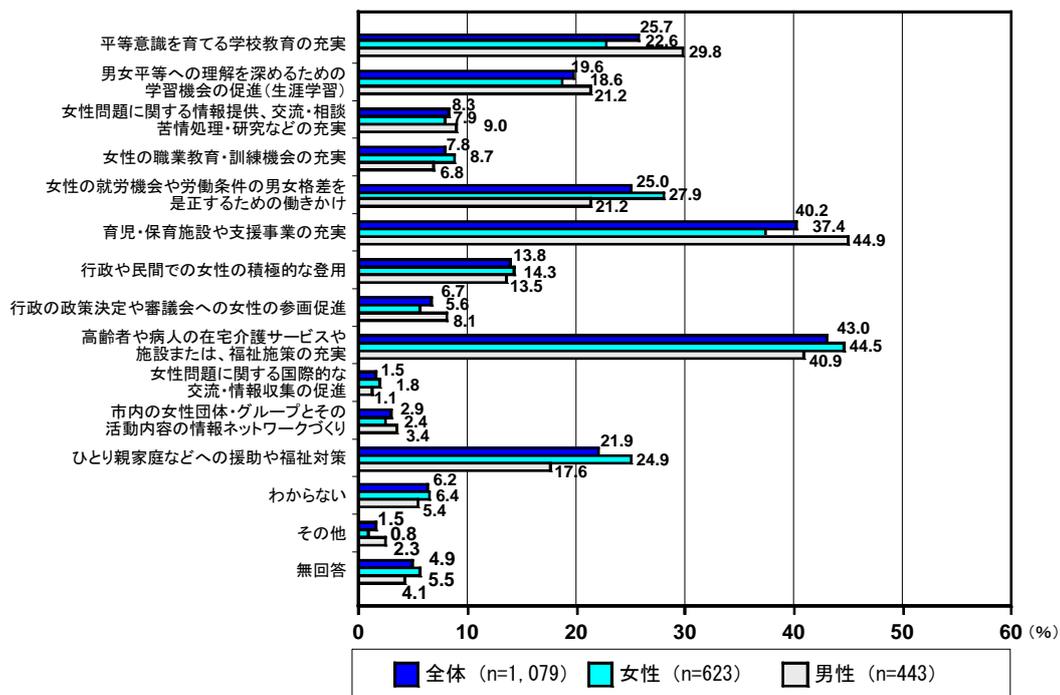
【今後、男女が家事、子育て、介護等に積極参加するための必要事項（性別）★全体で見た上位10項目】



◆男女平等社会実現のために岡崎市への期待することは？

○「高齢者や病人の在宅介護サービスや施設または、福祉施策の充実」が43.0%で最も高く、次いで「育児・保育施設や支援事業の充実」が40.2%となっています。

【男女平等社会実現のための岡崎市への期待すること（性別）】



● 岡崎市 文化芸術部 文化活動推進課 男女共同参画班
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地（岡崎市図書館交流プラザ内）
電話：0564-23-6222 FAX：0564-23-3165